

# 八戸ブックセンター

12

2019



---

八戸ブックセンターは、12月4日で、3周年となります。

市内外からたくさんの方にご来館いただいております。

11月には来館者数40万人を迎えることができました。

今後も「本のまち八戸」の拠点施設として

いつ来ても楽しんでいただけるような品揃え、イベントの企画をしていきます。

みなさまのご利用お待ちしております。

---

【弘前大学八戸サテライト×八戸市立図書館×八戸ブックセンター連携企画】

# 「経済」の視点で見つめなおす八戸

講師 田中哲さん（八戸学院地域連携研究センター長 八戸学院大学地域経営学部 教授）

12/7(土) 【八戸地域学講座】

## はちのへまちを よくする作戦会議

これからの八戸をよくするためにはどのようなことが必要か、参加者の方との対話形式で語りあうイベントです。これまでの八戸の経済についてもやさしく解説します。

14:00～ 要予約

場所：弘前大学八戸サテライト

12/14(土) 【アカデミック・トーク】

## 現代八戸地域経済概説 ～八戸の今を見つめる～

現代の八戸の経済（「八戸市史講座」でとりあげた時代以降）について学びます。八戸市史講座へ参加した方でさらに理解を深めたい方もぜひご参加ください。

14:00～ 要予約 / ワンドリンク制

場所：八戸ブックセンター

※八戸市立図書館での講座は11月23日に開催済み。

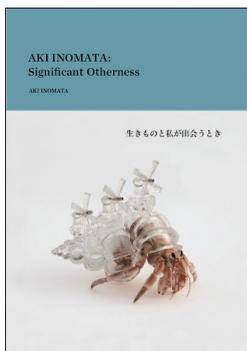
12/20(金)

【アカデミック・トーク】

『AKI INOMATA Significant Otherness 生きものと私が出会うとき』  
刊行記念トーク・サイン会「**展覧会の舞台裏**」

ゲスト AKI INOMATAさん

（聞き手：見留さやかさん／十和田市現代美術館学芸員）



十和田市現代美術館で開催中の初の大規模個展「AKI INOMATA: Significant Otherness 生きものと私が出会うとき」にかけた思いと、新作《ギャロップする南部馬》の制作のきっかけや十和田市現代美術館での滞在制作について、ミノムシの採取と飼育についてなど、制作の秘話を伺います。聞き手には展覧会のアシスタントキュレーターである見留さやかさんをお招きします。

イベント後にはサイン会を開催いたします。

18:00～ 要予約 / ワンドリンク制

12/21(土)

【パワープッシュ作家】

『「ついやってしまう」体験のつくりかた』

刊行記念連続公開講義第二回

第2章実況講義

「ドラゴンクエストと驚きのデザイン」

講師 玉樹真一郎さん

(八戸学院大学学長補佐・地域経営学部 地域経営学科特任教授。  
元・任天堂 企画開発者)



つい やってしまおう・思わず夢中になる・誰かにすすめたくなる。

そんな「つい」人が動く「体験デザイン」(XD)の連続講座です。第2弾はテレビゲーム「ドラゴンクエスト」シリーズから「驚き」のデザインを読み解き、人がなぜ「つい夢中になってしまう」のか、その「つい」熱中させてしまうデザインづくりを、任天堂の企画開発者であった『「ついやってしまう」体験のつくりかた』著者の玉樹真一郎さんとともに探究します。

14:00 ~ 要予約 / ワンドリンク制

12/27(金) ブック・ドリンクス

毎週最終金曜日は！

18:00 ~ ワンドリンク制 予約不要

＼パワープッシュ作品／

## 呉勝浩『スワン』

八戸出身の小説家・呉勝浩さんの新刊『スワン』を八戸ブックセンター館内でパワープッシュ中です！館内では、これまでデーリー東北紙に掲載された呉勝浩さんのインタビュー記事もご覧いただけますので、呉さんが作品にこめた想いも読みながら、ぜひお手にとってみてください。

『スワン』(KADOKAWA・刊)

大型ショッピングモール「スワン」で起こった凶悪テロ事件。多数の死傷者が出るなかで生き残ったいずみは、トラウマを抱えながらも再びパレエを踊れるように、自分のなかの正解を探り、前へ進んでいく。



【ギャラリー展】

12/21(土)～2020 3/8(日)

# 柴崎友香×滝口悠生 アイオワ / 八戸 ～作家が滞在するということ～

**iwp** International  
Writing Program

アメリカ・アイオワ州にあるアイオワ大学では、世界中から集まった作家たちが約3ヶ月間滞在するインターナショナル・ライティング・プログラム（IWP）という企画が毎年開催されています。日本からはこれまで30名を超える作家が参加していますが、2016年に参加したのが柴崎友香さん、2018年に参加したのが滝口悠生さんです。

本展示では、柴崎友香さんと滝口悠生さんお二人のIWPに関する著書や現地で撮影された写真を通じて、IWPとはどのようなプログラムなのかを紹介し、さらには、八戸でライティングプログラムを実施する可能性について探りたいと考えています。

## 柴崎友香(しばさき・ともか)

1973年大阪生まれ。2000年に『きょうのできごと』を刊行（04年に映画化）。07年『その街の今は』で藝術選奨文部科学大臣新人賞、織田作之助大賞、咲くやこの花賞、10年『寝ても覚めても』で野間文芸新人賞（18年に映画化）、14年に『春の庭』で芥川賞を受賞。アイオワ滞在中の様々な体験から感じたことを描いた11の連作小説集『公園へ行かないか、火曜日に』が2018年に刊行されている。

## 滝口悠生(たきぐち・ゆうしょう)

1982年東京都生まれ。2011年、「楽器」で新潮新人賞を受賞してデビュー。2015年、映画「男はつらいよ」シリーズをモチーフにした『愛と人生』で野間文芸新人賞受賞。2016年、『死んでいない者』で芥川賞受賞。アイオワ滞在中の日記をまとめた『やがて忘れる過程の途中（アイオワ日記）』を今冬 NUMABOOKS より刊行。

## 年末年始のおしらせ

12月29、30、31日、および1月1日は休館いたします。

### アクセス

#### 【バス】

八戸駅東口から八戸市中心街行き約25分  
「十三日町」または「八戸中心街ターミナル(八日町)」下車すぐ

#### 【鉄道】

八戸駅からJR八戸線「本八戸」下車徒歩約10分

### 住所

〒031-0033

青森県八戸市六日町16番地2 Garden Terrace 1階

TEL 0178-20-8368

開館時間：10:00～20:00

休館日：毎週火曜日（祝日の場合はその翌平日）、1/1、および12/29～12/31



八戸ブックセンター  
HACHINOHE BOOK CENTER

最新情報・イベントのお申し込みは・・・

web <https://8book.jp>

こちらもチェック！

twitter @hachibookcenter

facebook @hachinohebookcenter

instagram @hachibookcenter